

としよかんだより

【下條村立図書館 96号 2012年1月15日発行】

今年のお正月は、よく晴れた凍みるような寒さの日が多かったようです。昨年は東日本大震災を始めとするさまざまな困難に、だれもが真摯に向き合ってきた1年でした。新しい年は、龍年！水底から天へと翔け上がる昇竜のように、これからが昇り坂の始まりとなりますように。

としよかん大好き家族！ PART79

鎮西(新屋敷)

鎮西さんご一家

「図書館へ来てよかった！子どもがこんなに本好きになるなんて、ほんとにビックリです！」とお母さんの時江さん。気取らないさっぱりした明るさが、子どもたちに、はじけるような元気を与えているようです。

昨年5月、「としよかん大好き家族」に登場したご一家と話すうち「図書館に行っただけなのに？絶対におススメだから行って見て!!」と言われ、図書館へ足を運ぶようになりました。

長女の光里(ひかり)ちゃん(2年生・8歳)のクラスでは『かいけつゾロリ』の作者：原ゆたかさんに下條小学校2年1組に来てもらおう！という計画がもちあがり、クラス全員で本を読み原ゆたかさんにお手紙を書くことに…。でも、学校図書館の『ゾロリ』は全部貸出中…。それで、村の図書館を利用しました！

その影響で『ゾロリ』に夢中になったのは、長男の諒汰(りょうた)くん(7歳)。1年生とは思えない速さで読みはじめ、シリーズ全部を読み終わりました。読んだ後は「このところ、おもしろいから読んでみて!」とお母さんや友だちにおススメしています!!

1～2年生でこれだけ本が読めるのには、ちゃんと理由があります。まだ2人が保育園へ上がる前のこと…「シンデレラ」などの昔話を、暗記するほど繰り返し読んであげたそうです。

次女の光希(みつぎ)ちゃん(年中・5歳)が、借りる本を選ぶ時、お母さんが棚から絵本を取り出しページを開いて見せてあげます。絵をじっくり見てから、借りる絵本を選ぶ光希ちゃん。『ばばあちゃん』シリーズ(さとうわきこ作)や『まじよのかんづめ』シリーズ(佐々木マキ作)は、そんなふうにして見つけた今お気に入りの絵本たちです。

鎮西家では、午後8時になるとテレビを消して【読書タイム】が始まるそうです。子どもたちと一緒に、時江さんも自分の本を開きます。

夜、寝る前に必ず絵本を3冊持ってくるのは、光希ちゃん。でも読み始めるとすぐにすやすや…。お母さんの声と絵本…これが光希ちゃんの、いちばんの安心のようですね。



<今月号の目次>

- 1p/としよかん大好き家族
- 2p/利用者 30万人達成
- 3p/ボランティア募集
- 4p/新刊ぴっくあっぷ

もうすぐ利用者30万人達成!!

下條村立図書館は、平成7年7月7日の開館以来多くの方にご利用いただいています。開館から17年、平成23年12月末現在で、29万8,898人が、114万2,534冊の本などを利用しています。図書館では、いつも利用してくださる皆さまに感謝の気持ちを込めて、利用人数・利用冊数の達成記念イベントを節目節目で行ってきました。達成経過は下記のとおりです。

- 利用者77,777人達成記念 平成10年7月11日 午後4:56
- 利用者15万人達成記念 平成14年6月15日(土)午前11:30
- 利用者20万人達成記念 平成17年5月29日(日)午後5:48
- 貸出冊数100万冊達成記念 平成22年2月9日(火)午後4:00

いずれも、ピタリ賞1名、前後賞各1名、ほか記念日賞など10名の方に、記念証や記念品などをプレゼントしてきました。

このたび、1月下旬から2月初めにかけて、いよいよ利用者30万人に達成することが予想され、記念イベントを開催します。さあ、チャンス到来!ぜひぜひ、図書館へお出かけください!!

あしたむらんだの門松と小正月飾り

毎年、匠の会の皆さんが作ってくださる門松と小正月飾り。どちらも、一年のうちでいちばん寒い時期に、匠の会の皆さんがあしたむらんだを訪れ、一生懸命ていねいに作ってくださいます。

今回は、記念写真を撮らせていただき、それぞれ記念の一枚となりました。この飾りを目にすると、匠の会の皆さんの尊い気持ちが伝わるようで、とても温かい気持ちになるのです。



小正月飾りの由来

- ①ピンカの木(約40cm)に団子(米粉をお湯でかいてまゆ玉の形にしたもの)を刺し、繭(まゆ)の豊作を祈る
- ②そよごの木(約150cm)に3cmほどの団子を刺し、カキ・ナシ・リンゴの豊作を祈る。
- ③竹の木(約170cm)にのし餅を1cm 四角に切ったものを刺し、穀物の豊作を祈る。
- ④お正月初めて入った山(初山)で迎えた木を二つに割り「十二月」と書いた【おにぎ】を木の根元に立てる。

読み聞かせボランティア募集

小学生の図書館ボランティアを募集しています。

図書館ボランティアの活動内容は？

図書館ボランティアって何？

毎週土曜日の午前中に図書館のお手伝いをします。絵本・紙芝居の読み聞かせ・手あそびなどをする【おはなし会】を上演しています。

- | | |
|-----------|-------|
| ①集合・打合せ | 9:45 |
| ②おはなし会練習 | 10:00 |
| ③おはなし会本番 | 10:30 |
| ④図書館のお手伝い | 11:00 |
| ⑤解散 | 11:45 |

平成14年度に学校が週休二日制になったことから、下條小学校少年クラブ・下條中学校クラブが始まりました。小学校少年クラブのなかの文化系クラブの1つとして、〈図書館ボランティア〉が始まりました。これまで、24名の小学生が参加してきました。

図書館ボランティアのきまり

- ①名札をつける
- ②大声で話したり、大きな声で笑わない
- ③走り回らない
- ④自分の読みたい本を読みふけらない
- ⑤ゲーム・カード・飲食は禁止
- ⑥欠席・遅刻の連絡は事前にきちんとする



図書館ボランティアをやりたい人は、図書館までご連絡ください！

のはらうたの会 会員募集

小学校で、子どもたちに絵本の読み聞かせをしてくださっているのが、【のはらうたの会】の皆さんです。平成15年度の立ち上げから9年間、会員は入れ替わりましたが月に1回“朝の時間”に各クラスに入り、子どもたちに絵本などを読んでくださっています。

- 内容：小学校各クラスでの読み聞かせ（月1回）
時間：8:20～8:35
研修：活動に入る前に、絵本や読み聞かせについての研修・講習会を聴講していただきます。
毎月、図書館にて「のはらうた研修」を行い、本番に備えての確認をします。
選書：図書館の「読み聞かせにおすすめの絵本コーナー」を活用していただいたり、会員同士で情報交換したりしています。

のはらうたの会では、新入会員の方を募集しています。PTAの方はもちろん、地域の方ならどなたでも大歓迎です。

興味のある方は、下記または図書館までご連絡ください。大勢の方のご参加をお待ちしています。

連絡先：下條小学校 27-2111

担当：太田 理恵子先生



新刊 ぴっくあっぷ



「かわいそうだね？」綿矢りさ著 文芸春秋 彼氏が元カノを居候させだしたり、美人の親友にいつも隣に並ばれたり、女ってほんとに厄介…。だれもが心に押し込めている本音がこぼれる瞬間をとらえた2篇収録。



「才輝礼讃 38のyumiyoriな話」松任谷由実著 中央公論新社 爆笑問題、官藤官九郎、やなせたかし、寺島しのぶ、井上陽水…。ユーミンが会いたかった38人との対話を収録する。



「平清盛 乱世に挑戦した男」岩田慎平著 新人物往来社 なぜ清盛は武士として頭角を現すことができたのか？清盛が目指した理想の国とは？院政期に関する多くの研究成果に基づき、平清盛の生涯を、平家一門の盛衰と関連させつついつかの画期に分けて浮き彫りにする。



「みんなをよんで『おうちごはん!』」人気料理家25人のとっておきのレシピとおもてなしのアイデアをご紹介！主婦の友社 料理家21人のおもてなしレシピ、持ちよりにぴったりなフレンチデリ、パーティが盛り上がるオーナメントクッキー、お取り寄せ可能なおいしい食べ物などを紹介。



「放蕩記」村山由佳著 集英社 娘・夏帆、38歳、小説家。母・美紀子、78歳、主婦。強烈すぎる母親の呪縛からのがれようともがく夏帆に、母を赦せる日は訪れるのか。濃密で普遍的な、愛憎と感動の物語。村山由佳衝撃の半自伝的小説。



「『がんばらない』を生きる」鎌田實著 中央公論新社 自らのジグザグ半生、「がんばらない」の誕生とその深化、ポスト・フクシマへの覚悟…。「田舎医者」が探究し続けた施策の集大成。



「夢をかなえる。思いを実現させるための64のアプローチ」澤徳希著 徳間書店 夢を抱くのに、年齢もキャリアも関係ない。シンプルな習慣を少しプラスするだけで、夢はグッと近づく。「コンプレックスは無理に克服しない」「自分の勝ちパターンをつくる」など、あきらめない自分をつくるヒントが満載。



「『あの日』に生まれてきた命 宮城、福島で命を育むお母さんの奇跡」茂木奈穂子 取材・文 アスペクト 震災直後、医療器具も何もない民家で出産したお母さん、避難所から母乳を毎日届けたお母さん…。東日本大震災を生き抜いた、お母さんと子どもの奇跡のエピソードを紹介。



「ヒート」堂場瞬一著 実業之日本社 日本男子マラソンの長期低迷傾向に歯止めをかけるため新設された「東海マラソン」。あらゆるお膳立てがなされたレースは終盤、思いがけない展開を見せる…。世界最高記録をめぐる男たちの人間ドラマを描く。



「だんじり母ちゃんとかかんたれヒロコ デザイナー三姉妹と母の物語」コシノヒロコ著 マガジンハウス お調子者で男前、気前がいいけど寂しがり、心は誰より乙女ちゃん…。世界的デザイナー三姉妹を女手一つで育てた愛すべき「お母ちゃん」の人生を、長女ヒロコが初めて語る。



「采配」落合博満著 ダイヤモンド社 邪念を振り払い、今この一瞬に最善を尽くす。監督の采配とは、一言で言えば、そういうものだと思う…。落合博満が勝利を引き寄せる66の言葉を紹介。8年間、中日ドラゴンズの監督として生きた思いをありのまま明かす。



「事実婚 新しい愛の形」渡辺淳一著 集英社 現行の婚姻制度が時代遅れで重いものであるため、人々は結婚を躊躇している!?作家・渡辺淳一が新しい結婚の形「事実婚」にスポットをあて、現代日本の愛と幸せを問い直す。